

つらい時には
阿弥陀もつらい
あなたひとり
ないという



No.114

2021(令和3)年
7月1日
発行

浄土真宗本願寺派
和歌山教区日高組

責任者

永原 智行



第10期れんけんが1年ぶり再開(於日高別院)4/10

ヒダカくん・ひかりちゃんのお話

『御文章』のお話

その17

永原智行

吉崎建立章

文明第三初夏上旬のころより、江州志賀郡大津三井寺南別所辺より、なにとなくふとのび出でて、越前・加賀諸所を経回せしめをほりぬ。よつて当国細呂官郷内吉崎といふこの在所、すぐれておもしろきあひだ、年来虎狼のすみなれしこの山中をひきたひらけて、七月二十七日よりかたのごとく一字を建立して、昨日今日と過ぎゆくほどに、はや三年の春秋は送りけり。

なるほどに道俗・男女群集せしむといへども、さらになにへんともなき体なるあひだ、当年より諸人の出入をとどむるころは、この在所に居住せしむる根元はなにごとぞなれば、そもそも人界の生をうけてあひがたき仏法にすでにあへる身が、いたづらにむなしく擦落に沈まれば、まことにもつてあさましきことにはあらずや。

しかるあひだ念仏の信心を決定して極楽の往生をとげんとおもはざらん人は、なにしにこの在所へ来集せんこと、かなふべからざるよしの成敗をくはへをほりぬ。これひとへに名聞利養を本とせず、ただ後生菩提をこととするがゆゑなり。しかれば見聞の諸人、偏執をなすことなかれ。あなかしこ、あなかしこ。

「文明五年九月 日」

(2面)続く

「文章のお話し」ついき

◎語句

文明第三…一四七一年。

初夏…陰曆四月。

南別所辺…三井寺五別所の一つ近松寺のこと。蓮如上人は大谷破却後、この近松寺の傍に御坊を建て親鸞聖人の御影を安置された。これを南別所辺という。

ふと…不図。はからず。

越前加賀…福井県・石川県

おもしろきあいだ…好ましく、心が引かれるのでかたのごとく…形式どおりに。

なにへんともなき体…何の所詮もない状態。

人界…人間世界

捺落…地獄。

あさましき…なげかわしい。

成敗…法度・制法を執り行うこと。さばき…ここでは

諸人の出入りを止められたこと。

名聞利養…名譽欲と財産欲。

菩提…迷いから目覚めたさとり智慧のこと。

偏執…自分の考えに固執すること。

◎現代語訳・大意

文明三年四月上旬に、近江の地から北国へ来て越前や加賀の各地をまわりました。そして、この吉崎という場所が特に気に入りましたので狼などが棲むような土地でしたが、山を切り開いて七月二十七日に一寺を建立しました。それから昨日、今日と日を過ぎ、もう三年も経ってしまいました。

そのうち多くの人々が集まってきましたが、私がお寺を建てた目的と違ってきた様子なので、今年から仏法を聞く気のない人たちの出入りを止めます。私がこの地に住んでいるのは何ためなのかといえ、人間に生まれて遇いがたいみ教えに遇いながら、むなしく地獄に墮ちてしまうのは本當に嘆かわしいことなので、他方の信心を決定し、浄土往生をよびていただきたいからです。しかし浄土に往生しようと思わない人たちは、何のためかこの地に集まるのかわかりませんから、出入りを止めたいと思つのです。

この地に集まるのは名譽や財産と言つた欲のためではなく、浄土に往生してさとりを得るためですから、このことを聞いた人々は、自分勝手な思いにとらわれないでほしいと思ひます。

ひかりちゃん 吉崎建立つてどういふことなの。

ヒダカくん ちょうどこのころ蓮如さんは、

親鸞聖人以来ずっと続いている京都東山に根拠を置きながら、各地を布教していったんだ。蓮如さんは「佛命尺十方無碍光如来」（南無阿彌陀仏のこと。お仏壇の右側にはこの文字か、もしくは親鸞聖人の絵が掛けてあります。十字名号という）を本尊にして講を組み、盛んに法座を開いていたんだ。

蓮如さんが布教していたところは、比叡山に近くて、蓮如さんの活動は比叡山を強く刺激をしたんだ。さらには、比叡山の末寺であった本願寺に末寺銭を増額したところ、蓮如さんはこれを拒否したんだよ。

こんなことがあつて、比叡山のお坊さんらによつて、刃向かう形になった本願寺は破壊されたんだ。

ひかり お金と、民衆に人気があつたことへの恨みがあつたのね。

ヒダカ こういふことが何度かあつて、蓮如さんは、京都を離れる決意をしたんだ。ちょうど戦国時代の幕開けとなる応仁の乱（おうにんのらん）が始まったこともあつて、さつさと京都を放棄したことは正解だったかもしれないね。吉崎のある北陸地方は、先代のご門主までにある程度布教されていたんだよ。それで、弱小教団であつた本願寺は、吉崎の地に死中の活を求めたんだね。

門徒心得

「お寺の本堂」

浄土真宗のお寺の本堂には外陣（げじ）と内陣（ないじん）があります。外陣は、参拝者が集うところで、僧侶も法要儀式を行うとき以外は、ここで皆さんと顔を合わせ、お話をします。つまり、本堂での私たちの居場所です。

一方の内陣は、仏さまの居場所です。中央にはご本尊の阿彌陀如来が安置され、両側には、左（向かって右）に宗祖親鸞聖人、右（向かって左）に蓮如上人の御影が安置されています。いずれのお方も、阿彌陀さまの念仏の教えを私たちに説いてくださり、ご自身も浄土に生まれられた方として敬っています。さらにその両端の余間には、浄土の教えを正しく伝えてくださった七高僧や聖徳太子の御影が奉懸されています。

こうした方々のお心は、阿彌陀さまと一つになつておられるわけですから、仏具やお飾りも含めて、内陣全体が阿彌陀さまのお心が染み込んだものばかりであり、浄土の情景をあらわしたものであるといえます。そして、法要で出勤する僧侶も、実は浄土の住人として、阿彌陀さまの浄土を具現する一員だったのでした。

あらためて、お寺の本堂の内陣は、あの世や理想郷ではなく、真実の世界である仏さまの浄土を表したものです。

ご参拝の折は、阿彌陀さまに手を合わせこのようなことを考えながら、内陣を眺めてみてはどうでしょうか、普段とは違う見え方がするかもしれませんね。

（鈴木章吾）

法話

悟り・涅槃とは何か

「正信偈」に「ついでついでに」一節があります。能く一念喜愛の心を発すれば、煩惱を断ぜずして涅槃を得るなり。現代語に直せば、「信を起して阿彌陀仏の救いを喜ぶ人は、自ら煩惱を断ち切らないまま、浄土で涅槃(悟り)を得ることが出来る」であります。

では悟り・涅槃とは何なのでしょうか。まず、実際に涅槃に至るといふのはどういう事でしょうか。

お釈迦さまは「すべての現象は苦である」と説かれました。そして、お釈迦さまはそれら苦しみの原因は煩惱であることに気がつきなされました。いかに苦しみをのり越えてゆくのかというのが一番の命題です。苦というのは生老病死という四苦のほか、生きていく上には多くの苦しみがありません。

涅槃とは「燃え盛る煩惱が消えた状態」であります。

私たちは生きていく限り、煩惱を無くしてしまふことはできません。もっと言うならば、いのちが終われば自動的に悟りに至る、すなわち仏さまになれるわけではありません。阿彌陀仏の救いを信じ、おまかせするより他に手立てがなすのです。

煩惱いっばい、自己中心的な生き方しかできない私の身の上に、南無阿彌陀仏のお慈悲いっばいいただいて、お浄土に参らせていただいて悟り得させていただく功德いっばいの「南無阿彌陀仏」を称えさせていただくからこそ仏となり涅槃を得させていただくことのできるのです。

ですから、私が涅槃を得る、悟りを得る、仏さまになってゆくのは自分が頑張るものではありません。阿彌陀仏という仏さまが、私を救うためです。

南無阿彌陀仏の声の仏さまとなって、今ここで働いてくださっているのです。(林崎)

「新しい日常」に合掌のころを

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年初めて実家に帰省しなかった。お盆に、お正月に、帰れることは当たり前ではないことに気づいた。待っている人がいること、帰る場所のあることの、ありがたさに気づいた。

今年こそみんなに会いたい。
法事で久しぶりにみんなと語りたい。
懐かしい風の香や、ふるさとの味。
自粛生活で誰とも会えない日々にも、私は一人ではなかったことに気づく。

仏さまの前で手を合わせ、生かされている、
支えられていることに感謝。
亡き人と、私を支えるたくさんの誰かと、
つながるご縁をありがとう。

——仏事のご縁は、きっと新しい日常を生きる私の力になる。

南無阿彌陀仏
「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ
「そのまま救う」が 弥陀のよび声
ありがとう といたいて
この愚身をまかせ このままで
救い取られる 自然の浄土
仏恩報謝の お念仏

(ご親教に示された「浄土真宗のみ教え」より)





正面のご本尊は阿彌陀如来です。左脇壇(向かって右)には親鸞聖人が右脇壇(向かって左)には歴代宗主の掛軸が奉懸されています。よく観察すると、内陣って自宅にあるお仏壇の中と同じだよ。

お寺の内陣



【応募方法】

ハガキ、日高組ホームページにてご応募してください。

法悦クイズ

〇ハガキで応募

- | |
|------------------------|
| ① 法悦クイズの答え ※必須 |
| ② 住所 ※必須 |
| ③ 氏名(ふりがな) ※必須 |
| ④ 年齢 |
| ⑤ 電話番号 |
| ⑥ 所属寺(〇〇寺) ※必須 |
| ⑦ 「ひかり」に対するご意見
ご感想等 |

〒649-1113
和歌山県日高郡
由良町阿戸244番地
教専寺内 日高組事務所 行

63円
切手

〇ホームページから応募

日高組ホームページのメニュー内にあります応募フォームより、必要事項をご記入の上送信ください。

日高組ホームページへのアクセス方法

下記のいずれかの方法で、日高組ホームページにアクセスできます。

〇URLを直接入力してアクセス

下記のURLを直接入力してアクセスしてください。

<http://hidakaso.jimdo.com>

〇バーコード(QRコード)からアクセス

お使いのスマートフォン等にQRコード読み取り機能で右のQRコードを読み取るだけでURLが表示されます。アドレス入力しなくても手軽にアクセスできます。



【応募締切】

2021年9月30日(必着)

発表は次号です

☆正解者の中から抽選で10名の方に『粗品』を進呈します。

「一三三号の正解は
③ 仏飯器に蓮のつぼみ型に盛り、ご本尊前に供える」でした。
【解説】 ご飯を仏さまと仰ぐ心は、盛り付けにも発揮されています。それが蓮のつぼみ型に盛るといふ習慣です。蓮は、お浄土に咲く花であり、仏さまのお心を表す花なのです。

Q 本堂の内陣(ないじん)は何を表しているでしょうか？
次の①～③の中から一つ選んで番号を書いてください
① 死後の世界
② 阿彌陀仏の浄土
③ 昔の人が考えた理想の世界

正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

- | | | | |
|-----|---------|-----|---------|
| 由良町 | 直川せつ代 様 | 由良町 | 宮本みさほ 様 |
| 由良町 | 田中都志 様 | 由良町 | 尾崎義一 様 |
| 由良町 | 畑中靖子 様 | 由良町 | 塩田廣一 様 |
| 由良町 | 井口きよみ 様 | 由良町 | 松下光男 様 |
| 由良町 | 嶋山雄一 様 | 日高町 | 小川千恵子 様 |

シリーズ 過疎問題を考える

妙願寺 楠原晃紹

災害時のお寺の役割と有効活用

那智勝浦町に臨濟宗妙心寺派

大泰寺(西山十海住職)と

いう寺院があります。

5月に、紀南組のある寺院からの相談依頼を受け、その帰りに視察訪問させていただきました。

宿坊経営

このお寺では2年前から庫裡を開放して、宿坊を経営し始めました。「お寺ステイ」という事業です。簡易宿泊所、いわゆる民泊は収益事業なので、寺院規則の変更や所轄庁(県)、包括宗教法人(本山)への認許などの申請や宿泊事業の届け出などで時間と労力が費やされ、立ち上げまでにかかなり苦労されたと同じました。

そもそもこの事業を始めようと思ったきっかけは、今からちょうど10年前の平成23年9月に上陸した台風12号による太田川の氾濫で、お寺周辺の集落が床上浸水などの甚大な被害があり、集落の高台にある本堂や境内地を被災者の避難場所として活用できないか模索していたとのことでした。

そこで日頃から宿坊として観光客などを受け入れていけば、万一の災害時に地元住民などが避難されても十分に対応できるのではないかと西山住職は考えられたそうです。

老朽化した庫裡を宿泊できるよう改修、鳥小屋を座禅道場に改修、風呂、トイレ、洗面施設の整備など借入金でまかない、お寺に宿泊した方が、座禅や写経の体験など本堂や境内地で過ごし、お寺や仏教に親しんでほしいとの思いで取り組まれています。



駐車場や境内地の有効活用

昨年からのコロナ禍で県外・海外からの利用客が激減したため、助成金を活用して、今年新たにキャンピングカーなど5台が外部電源を使用できる設備など整備され、アウトドアブームに便乗して、テントエリアとともに県内外の客に気軽に利用してもらおうと取り組まれています。

住職のお話をお伺いしているうちに参考になったのは、その周辺にある廃寺となった寺院の有効活用について、オートキャンプ場など境内地を活用して収益を上げ、お寺の維持費などに充てることとお話いただいたことです。電気・水道・トイレ・シャワー室など最小限の設備投資で運営できる点では、すぐにでも始められる事業なのではないか思います。

大泰寺に合併したものの、廃寺となった伽藍を檀家さんで維持されている現状から考えると、本堂や境内地を活用した収益事業ができれば、これほどありがたいものはないでしょう。ましてや無住寺院ということで治安維持が不十分な点を、オートキャンプ施設という頻繁に人が出入りすることで、その不安も払拭されるかもしれません。

教区内でも、風光明媚な山間いや海岸筋に無住寺院が点在しています。伽藍や境内地を有効活用できる方法として、今後一考の価値があるように思われます。

今回の訪問で、過疎地域における寺院としての役割と災害時の備えを平時より考えておかねばならないこと、また都会では味わえない田舎ならではの魅力を確認させていただきました。

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要
立教開宗800年

Joint Celebration

850th Anniversary of Shinran Shinon's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日

2023(令和5)年

第1期 3月29日(水)~4月3日(月)

第2期 4月10日(月)~4月15日(土)

第3期 4月24日(月)~4月29日(土)

第4期 5月6日(土)~5月11日(木)

第5期 5月16日(火)~5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day

親鸞聖人のご命日です ご参拝ください

浄土真宗本願寺派
龍谷山 本願寺

令和5年にお迎えいたします。

親鸞聖人御誕生850年、立教開宗800年度讃法要は、『親鸞聖人の説き示してくださった浄土真宗の教えに出遇うことがなければ今の私はあり得なかつた』という聖人への感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて聖人のご誕生を祝い、「立教開宗に感謝」する法要です。日高組におきましては2年後の団体参拝を予定していますので、日程等の詳細が決まり次第お知らせいたします。

親鸞聖人ご誕生850年
前住清徹師33回忌

立教開宗800年
聖徳太子1400回忌
慶讃法要が営まれる(妙願寺)



藤田師によるギターde法話 妙願寺(日高町志賀)



「ギターde法話」の様子
は YouTube でご覧
いただけます(53分)

「ギターde法話」については、法要に
参拝された仏教壮年会の芋谷庄次さん
は、さだまさしの「案山子」を聴いて
いるうちに、息子が東京の大学に進学
した頃の心境が思い出され、大変感動
した法話でしたと話され、いつもと違
った聴聞のひとつを過ごされました。

昨年(2020年)の降誕会は内勤め(住職寺族の
み)での法要でしたが、今年は新型コロナ
ウイルス感染症対策の徹底のため、自動検温
消毒器を新規購入し、町外の方は余間の
椅子席に着席しての参拝など対策し
て万全を期しての開催でした。

5月2日(日)、降誕会に合わせて
慶讃法要が厳粛かつ盛大に勤修されま
した。



例年は法要後、盛大にお餅まきが行わ
れますが、今年は事前に袋詰めにしたお
餅やお供物が配布されました。

(楠原)

〔 お寺にGO~! 〕

日高組はIT企業さんとの共同プロジェクトを
開始しました。「坊主の話を聞け」で検索してくださいね。

現在、日高組では永原智行師、藤田真雄師、楠原晃紹師の3名がお悩み相談を
定期的に受けています

一般社会でお悩みの方々に仏法を意識していただき、お寺にお越しいただききっかけとして動画配信を
行っています。ツイッターも公開されていますが、全国から毎日たくさんのお悩みの声が来ているようです。
まだまだ投稿数も少なく、登録者も僅かですが、全力で私達僧侶がお悩み相談をお受けいたします。



公式チャンネル
「坊主の話を聞け！」

新型コロナウイルスの感染拡大に伴うすべての人へのメッセージポスター

先が見えない新たな生活を送るすべての人へ向けてのメッセージポスターが宗門で作成されている



メッセージポスター
メッセージポスター
メッセージポスター



いま私にできること

What can I do now?

私のいのちを大切にすること

To cherish my life

他の人のいのちを大切にすること

Respecting the life of all people on earth

いま私たちは 大きな不安の中で 生活しています。
目に見えない ウイルスに対する不安。
いつまで続くかわからない不安。
大切な「つながり」が そこなわれてしまいそうな不安。
そんなときは 少し立ち止まって周りを見てみましょう。

「つながり」の中で 生かされている私。
だからこそ いま 私のいのちを大切にしたい。
私とつながる他の人の いのちを大切にしたい。
そのために いま 私にできることを考えましょう。

自分は大丈夫と 過信しない。
必要なものは 人と分かちあう。
根拠のない情報に 振り回されない。
不安が生み出す偏見や差別の心を 持たない。
厳しい状況の中 力を尽くしている方々に 感謝する。

「つながり」の中で 生かされている私たちは
共にささえあい 力をあわせ
誰もが安心して生活できる社会を 取りもどしてまいりましょう。

浄土真宗本願寺派(西本願寺)

二尊会・降誕会に出勤



5月16日、21日の両日、本願寺鷺森別院の二尊会と降誕会に日高組より各1名が法要出勤されました。

例年、二尊会に合わせて各教化団体の総会が開催されてきましたが、仏教壮年会を降きすべて中止となり、参加者も限定された法要となりました。

宗祖降誕会・二尊会に出勤された永原組長と楠原副組長が、散華頭(三奉請の発音者)を担当しました。

日高組では、僧侶・門信徒に別院法要への積極的な参拝を推進しています。

なお、7月9日には「平和を希う念仏者のつどい」が鷺森別院で開催されます。

ご一緒に参拝しましょう。

心のこえ 聴いて語ろう ゆっくりと

読者の声

※きちんとした知識がないまま、お仏飯をお供えしていたので、とても勉強になりました。

※毎回読ませていただいています。知らない事も多く勉強になります。

※仏教の教えはむづかしいですが、ひかりを読む事によって少しずつ知る事ができ、勉強です。

※ひかりは、いつも読ませてもらっています。

※今年度から、仏教婦人会の班役員をさせてもらいます。何もわかりませんがよろしくお願ひします。

※コロナが早く終息してほしいですね。毎回教えられる事が沢山あります。ありがとうございます。

※忙しい日々ですが、ひかりを読んで法話に浸りたいです。

※いつも拝読させてもらっています。私も嫁に来た時はおばあちゃんに仏前へ御仏飯お花をかざってね、とよく言われました。なんともなしにかざっていました。日本人は本当に米が主食なので大事に感謝して飾った後は頂きましょう。

※コロナ禍でなにもかもが中止となり、人の出会いが少なくなり寂しい一年となりましたが、先日久しぶりにお寺にお参り出来うれしく思いました。来年こそ明るい年をむかえられますように祈る日々です。

※「感染の収まり祈る梅青く」まだ梅の実青く梅の実が赤くなる頃には収まってほしいと思う願ひを書きました。手を合わせてコロナ収束祈る日々。

※毎号有難うございます。

※いつもひかりを読んで仏様の事など勉強になります。

お仏飯の供え方、下げ方など知らなかった事が多かったので本当に良かったです。

※いつもありがとうございます。コロナ禍が早く収束するよう。念仏の毎日です。

日高組通信

☆行事報告

◎日高組実践運動推進協議会

3月6日(土)、阿戸教専寺で令和2年度活動報告、3年度活動計画が各教化団体などから提案され、日高組重点プロジェクトの計画が策定されました。

◎令和2年度定期組会、役職者追悼法要

組の定期組会が3月27日(土)教専寺で開催され、2年度事業報告・決算、3年度事業計画案・予算案が上程され、原案通り可決されました。また、日高組実践運動重点プロジェクトの周知徹底を図るため、各教化団体の総会資料に重点プロジェクト推進計画を添付することなど確認されました。組会に先立って、2年度役職者の追悼法要が勤修されました。

◎第10期連続研修会(れんけん)

昨年2月以降休止していましたが、れんけんが4月より再開され、第8回が4月10日、第9回が6月5日に本願寺日高別院を会場に開催されました。当面は三密回避のため日高別院をお借りしての開催を予定しています。

◎日高組第一回組内会

6月12日、志賀妙願寺にて開催されました。今年度の活動日程の確認、宗務連絡等がなされました。

また、実践目標に掲げたSNSを用いた活動事例が紹介されました。(6面下段参照)

☆行事計画

状況によっては急な中止もありえます。

◎第10期連続研修会(れんけん)

8月7日(土)日高別院にて第10回れんけん並びに10月2日(土)第11回れんけんを開催します。

◎令和3年度真宗法座

第10期れんけん修了式
12月12日(日)に開催予定。
次号で詳細をお知らせいたします。

ひかり編集委員会(広報部)では読者の皆さんからの投稿を募集しています。

法悦クイズに是非チャレンジしましょう。同時にご意見ご感想を添えていただければ幸いです。